



小峰 東海農政局長が就任しました

就任ごあいさつ 東海農政局長 小峰 賢哉（こみね たかや）

7月31日付で東海農政局長に就任した小峰賢哉です。よろしくお願いいたします。
はじめに、このたびの令和8年熊本地震及び令和8年8月千葉豪雨によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

東海地域は、自動車産業や航空宇宙産業をはじめとする日本有数のものづくり産業が集積する一方、平野部から中山間地域まで幅広い地域で付加価値の高い作物を中心に多様な農業が展開されていると認識しています。

明治用水頭首工復旧状況

明治用水頭首工については、令和4年5月の漏水事故により利水関係者の皆様に多大なご心配をおかけしましたが、本年5月末に頭首工左岸側の河川内工事が完了し、頭首工の機能が回復しました。また、将来的な漏水を発生させない構造とするため、本年10月から右岸側の恒久止水矢板の設置工事に着手し、令和9年5月末に全ての工事が完了する予定です。農業用水だけでなく、工業用水や水道水の安定供給を支える重要な施設であることから、関係機関と連携し、着実に復旧を進めてまいります。

水田政策の見直し

水田政策の見直しについては、これまで関係団体の皆様へのヒアリングを含め、農林水産省内外で議論を重ね、検討を進めています。また、この見直しについて現場の皆様と意見交換を進めており、多くの意見を頂戴しているところです。引き続き、東海地域の皆様に安心して営農に取り組んでいただけるよう、皆様の声を本省にしっかりと伝えてまいりたいと考えています。

農業者の減少への対応

現在、農業分野では農業者の減少・高齢化が大きな課題となっています。今後も地域農業を維持していくためには、地域計画に基づく農地の集積・集約化やスマート農業の活用による省力化などを進め、生産性を向上させることが不可欠です。関係機関と協力して、地域計画のブラッシュアップに向けた取組やスマート農業技術の円滑な導入を後押ししてまいります。

持続可能な農業の推進

地球温暖化による高温障害や異常気象の頻発など、農業生産への影響が顕在化しています。管内では「みどりの食料システム戦略」に基づく環境負荷低減の取組が広がっていると認識しており、引き続き、有機農業の推進や温室効果ガス削減効果の見える化を進め、持続可能な食料システムの実現に取り組んでまいります。

農林水産物・食品の輸出について

東海地域は、牛肉、茶、果実などの一次産品から菓子、味噌・醤油などの加工食品まで様々な商品が輸出されています。2030年5兆円の農林水産物・食品の輸出額目標に向けて、関係機関と連携し、事業者の課題に応じた伴走支援を実施します。

2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）

来年3月19日から横浜市において「2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）」が開催されます。花き生産日本一の愛知県を擁する東海地域としても、この機会を通じて地域の魅力発信と花き産業の振興につなげていきたいと考えています。

家畜伝染病の侵入防止

今月から、愛知県において、アジア・アジアパシフィック競技大会が開催されることから人流・物流の活性化が見込まれます。海外からの新たな家畜伝染病などの侵入防止徹底のため、愛知県をはじめとする関係機関と連携し、肉製品等の持ち込み禁止の周知活動などに協力してまいります。

結びになりますが、各種施策の推進に当たり、私自身もできるだけ多くの現場に足を運び、農業者をはじめ現場の皆様の声をよく伺いながら、誠心誠意取り組んでまいります。

お問合せ先 企画調整室 TEL 052-223-4610



キッズフェスタ2026 を開催しました

東海農政局は、将来を担うこどもたちに農林水産業や食に関する理解を深めてもらうため、幼児（夏まふりのみ）や小学生を対象に名古屋第4地方合同庁舎 キッズフェスタ2026を開催し、多くのこどもたちが参加しました。

夏まふり@東海農政局



8月5日に農業や食に関する様々な体験ができる「夏まふり@東海農政局」を開催しました。スマート農業技術体験として「MRを使用したドローンの操縦体験」、捕獲した鳥獣の有効活用を学習する「鹿の皮を使った小物作り」、農業農村の多面的機能を学習する「メダカすくい」などを行い、参加者には楽しみながら農林水産業や食に関する理解を深めてもらいました。



フォトブースに登場したモリゾー・キッコロ



MRを使用した
ドローンの操縦体験



メダカすくい



豆つかみゲーム



もみすり体験



食料安全保障についての
学習ゲーム



めざせ！！
食品表示マスター



鹿の皮を使った小物作り



食品ロス
押し花しおりづくり体験

「消費者の部屋」体験イベント

「消費者の部屋」で、東海食育ネットワーク会員の方々（東海学院大学、こびとの農園、（株）ヤクルトマーケティング東海）に協力いただき、各種体験イベントを開催しました。参加者の記憶に残る夏休みの思い出になりました。



おいしく食べて、地球も守る！
魔法のあぶら大変身
～手作りアロマせっけんと
食のエコ体験～
出展：東海学院大学



梨のひみつを知ろう！
つまみ細工でつくる
梨のキーホルダー
出展：こびとの農園



VR体験
「ヤクルトおなか探検ツアー」
出展：（株）ヤクルト
マーケティング東海



調査せよ！食べるヒミツと
生命のつながり
～キラキラDNAストラップで
「からだのひみつ」を発見～
出展：東海学院大学

金城学院大学において体験型学習講座を実施しました

東海農政局は、令和8年3月に包括連携協定を締結した金城学院大学において、7月30日から8月4日にかけて、体験型学習講座を実施しました。この講座は、実際の社会課題を題材に、専門分野の枠を越えて学び、学んだ知識を社会で生かす力を育むことを目的としています。

金城学院大学の多様な学科の学生に加え、他大学の学生や高校生も参加し、東海農政局や生産者による講義のほか、トマト栽培の体験や商品開発に関するグループワークに取り組み、農業や食への理解を深めました。



7月30日 東海農政局の講義の様子



7月31日 農園実習の様子

日時 プログラム

1日目 午前	東海農政局から、農業の課題と政策について講義、輸出に関するグループワークを実施
午後	農業者から、有機栽培の取組やこだわりを紹介
2日目	農園においてトマトの芽かき・収穫の体験実習 デパート等で商品の売り方に関する市場調査
3日目	農園のトマトを題材としたグループワーク
4日目	発表・講評

輸出に関するグループワーク

「コメまたはサツマイモの米国への輸出を拡大するアイデア」についてグループワークを実施しました。学生からは、「サツマイモは米国には生で輸出できないため、冷凍焼き芋にして輸出する」「コメは米国で日本食ブームが起こっているの、おにぎりやお寿司を現地で人気のあるキャラクターとのコラボ商品として販売する」などのアイデアが生まれました。

トマトを題材にしたグループワーク

トマトジュース製造時に廃棄されるトマトの皮や種の活用法と、農園のトマトジュースのラベルデザインについてグループワークを実施しました。

学生からは、単なる商品開発の提案にとどまらず、栄養面の考察や開発商品を使ったレシピ提案、コストを踏まえた販売価格の提示など、専門分野が異なる学生同士で考えたからこそそのアイデアがみられました。

お問合せ先 企画調整室 TEL 052-223-4610

災害時に備えた食品の家庭備蓄を始めましょう

8月30日から9月5日は防災週間、9月は防災月間です。近年、台風や豪雨、地震などの自然災害が頻繁に発生しています。災害による被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが防災意識を高め、日頃から備えておくことが大切です。この機会に、災害時に備えた食品の家庭備蓄を始めませんか。

家庭備蓄の例

1週間分 / 大人2人の場合

必需品	水 2L×6本×4箱 ※1人1日およそ3L程度 (飲料水+調理用水)	お好みのお茶や清涼飲料水なども、 あると便利!	カセットコンロ・ カセットボンベ×12本 ※1人1週間およそ6本程度
主食 エネルギー 炭水化物	米 2kg×2袋 ※1袋消費したら1袋買い 足す(1人1食75g程度)	乾麺(うどん・そば・そうめん・パスタ) ・そうめん2袋(300g/袋) ・パスタ2袋(600g/袋)	その他(適宜) ・LL牛乳 ・シリアルなど
主菜 たんぱく質	レトルト食品 ・牛丼の素、カレー等18個 ・パスタソース6個	缶詰(肉・魚) ・お好みのもの18缶	
副菜 その他 (適宜)	日持ちする野菜類 ・たまねぎ、じゃがいも等	調味料 ・砂糖、塩、しょうゆ、めんつゆ等	インスタントみそ汁や即席スープ
	梅干し、のり、乾燥わかめ等		チョコレートやビスケット などの菓子類も大事!
	野菜ジュース、果汁ジュース等		

なぜ 食品の家庭備蓄が必要なの?

過去の経験によれば、災害発生時からライフライン復旧まで1週間以上を要するケースが多くみられます。

また、災害支援物資が3日以上到着しないことや、物流機能の停止によって、1週間はスーパーマーケットやコンビニなどで食品が手に入らないことが想定されます。

このため、**最低3日分～1週間分×人数分の食品の家庭備蓄**が望ましいといわれています。



詳細はこちら
(農林水産省ウェブサイト「家庭備蓄ポータル」)

お問合せ先 企画調整室 TEL 052-223-4610

農業経営発展計画制度のご案内

農地を保有できる法人（農地所有適格法人）については、農業関係者が総議決権の2分の1以上を占めること（議決権要件）が法律で定められていますが、取引先の食品事業者から出資を得て農業経営の発展に取り組む計画（農業経営発展計画）を作成し、国の認定を受けた場合、議決権要件の特例（食品事業者からの出資可能枠の拡大）を受けることができます。

さらに、農業経営発展計画の認定を受けた法人を対象とした補助事業の優遇措置も設けられています。農業経営の一層の発展に向けて、本制度の活用をご検討ください。

農業経営発展計画制度のご案内

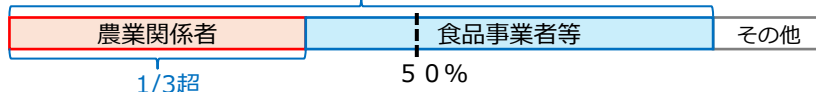


農業経営発展計画制度とは

農地所有適格法人が、出資による提携事業者との連携措置を通じた農業経営を発展させるための計画について、農林水産大臣の認定を受けた場合に、議決権要件の特例（出資可能枠の拡大）を措置する制度です。

- ☑ 農地所有適格法人は 資金調達を拡充 できます
- ☑ 提携事業者は 経営参画・連携強化 できます

【議決権要件の特例のイメージ】 1/2超



農地所有適格法人のメリット

食品事業者等からの資金調達を拡充できます

- ・生産規模の拡大、設備投資に資金を融通できる
- ・販路確保、取引量増大により経営基盤を強化できる
- ・連携先事業者の経営ノウハウを導入できる

食品事業者のメリット

融資を通じた経営参画・連携強化ができます

- ・取引関係の強化により、原材料を安定調達できる
- ・原料調達先で安定的な生産体制が構築される

詳しくはこちら



お問合せ先 経営・事業支援部 農地政策推進課 TEL 052-223-4627

GREEN×EXPO 2027「日本政府苑」の展示概要を公表

～自然との対話を体験する展示空間を展開～



立花（りっか）

2027年3月19日から9月26日の期間、GREEN×EXPO 2027が横浜で開催されます。農林水産省及び国土交通省が出展する日本政府苑では、伝統的な造園技術を活用した「令和日本の庭」を展示するとともに、日本各地の人々が自然との関わりの中で育んできた文化や価値観を紹介します。

詳しくはこちら



樹種：五葉松 銘：根上
樹齢：390年
海外より国賓が皇居にご来訪されたときに飾られる盆栽。外部展示は初。

お問合せ先 生産部 園芸特産課 TEL 052-223-4624



GREEN×EXPO 2027

開催まで あと 7か月！

開催期間：令和9年3月19日（金）から9月26日（日）
開催場所：横浜市

【編集後記】

実りの秋を迎え、新米や野菜、果物など旬のおいしい農産物がたくさん出回る季節となりました。地域で育てられた食材を選ぶことは、地域農業の応援にもつながります。ぜひ、東海地域の恵みを食卓に取り入れてみませんか。

<編集 集> 東海農政局 企画調整室 TEL 052-223-4628

<ウェブサイト> <https://www.maff.go.jp/tokai/>



東海農政局



「食・農びっくあつぷ」
ウェブサイト



メールマガジンの
登録はこちら



東海農政局公式
X